

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】GI-01

申請日	2021/11/5	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

mFOLFIRINOX 療法	病名	膵臓癌	消化器科	医師名	Dr
対象	局所進行切除不能または遠隔転移を有する膵臓癌の一次療法				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)									
			1	5	10	15	20	25	30			
レボホリナート	200mg/m ²	div	○									
イリノテカン塩酸塩	150mg/m ²	div	○									
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○									
フルオロウラシル	2,400mg/m ²	civ	○→									

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

← 1コース →

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

*治療開始前に、UGT1A1の遺伝子多型を調べておくこと。

*多量の腹水・胸水のある患者、イレウス患者等には禁忌(詳しくは添付文書を参照)

day1

- ① メインルート【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート12mg /div 30分

③ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL+オキサリプラチン /div 2時間

④ メイン【白】 生理食塩液500mL+イリノテカン /div 1.5時間

④' Y側管【水色】 5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間

⑤ メイン【黄】 生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m² /civ 46時間

} レボホリナート開始30分後
よりイリノテカンを開始

day3 【ルアーロック】ヘパリンNaロックシリンジ（終了後ポートフラッシュ）

※ インフューザーポンプ使用の場合(外来化学療法使用の場合)

⑤' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル

(生食の量は5-FUとの合計が140mLになるように薬剤科で調整) /civ 46時間 (3.7mL/hr)

制吐剤セット処方⑮

Day2~4 デカドロン(4) 2錠(分1 朝食後)

【提出論文】 ACCORD11試験

日本膀胱学会監修「FOLFIRINOX療法適正使用の目安」

Ozaka M et al. Cancer Chemother Pharmacol. 2018 ;81:1017-23